

～ すべての体験から進路実現へ ～

東京都立山崎高等学校は、令和4年に創立40周年を迎えました。

町田地域では「行事の山高」と言われ、体育祭や山高祭等の学校行事に力を入れた教育を展開していることで有名な全日制課程普通科の高等学校です。

令和4年に「UNESCO ASSOCIATED SCHOOLS NETWORK(ユネスコスクール)」となり、ユネスコ憲章に示されたユネスコ理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校として、全ての教育活動に、持続可能な開発のための教育（ESD）を織り込みました。

持続可能な開発のための教育（ESD）とは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育で、国際理解、環境、多文化共生、人権、平和、開発、防災などが含まれています。そして、持続可能な開発のための教育（ESD）の実施においては、「人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと」や、「他人、社会、自然環境との関係性を認識し、関わり、つながりを尊重できる個人を育むこと」に取り組んでいます。

そして、我が国の成年年齢が18歳になったことも踏まえて、授業だけではなく、すべての体験から進路実現が図れるように、自ら考え、自ら行動し、18歳成年に相応しい立ち居振る舞いができる、真の主権者を育成する教育を実践しています。

校 長 町 谷 光 博